

事業主体名		那覇市						
令和3年度 沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート								
事業名	「近世琉球」関連施設整備事業(首里城公園周辺地域)					担当部署名	市民文化部文化財課	
						認定市町村名		
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	<input checked="" type="checkbox"/>	現年事業	事業実施(予定)年度	令和元～3年度	
	<input type="checkbox"/>	先導性要件		<input type="checkbox"/>	繰越事業			
事業内容	令和元年10月31日の首里城火災による建造物や収蔵品の焼失に伴い、首里城公園の来訪客が減少していること、首里城に代わる複数の集客施設への誘客や受け入れ態勢の整備など、広域的な取り組みを推進しなければ、来訪客の減少に歯止めがかからない恐れがあることから、世界文化遺産「識名園」のトイレ整備及び池水浄化、首里城公園周辺の遊歩道にある天然記念物「首里金城の大アカギ」の木道整備や各施設における広域観光情報の発信等を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
		当初予算額	6,664	0	8,151	0	46,948	
		増減額	0	0	20,428	0	0	
		予算現額	6,664	0	28,579	0	46,948	
		前年度から繰越	0	6,664	0	28,579	0	
		翌年度へ繰越	6,664	0	28,579	0	0	
	計	0	6,664	0	28,579	28,579	46,948	
	執行済額	0	6,413	0	27,720	45,697		
	うち補助金充当額	0	5,130	0	22,176	36,556		
	不用額	0	251	0	859	1,251		
執行率(%) (B/A)	0.0%	96.2%	0.0%	97.0%	97.3%			
予算の状況の説明	概ね計画どおり事業を進捗させることができた。不用額については、入札残等実績に伴うものである。							
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	識名園整備件数:2件		目標 ()	(1件)	(1件)	()		
			実績	0件	2件			
	首里金城の大アカギ木道整備件数:1件		目標 ()	()	(1件)	()		
		実績		1件				
達成状況説明	識名園整備については、識名園トイレ増築工事及び識名園心字池水質改善業務を令和3年度に完了した。首里金城の大アカギ木道整備については、令和3年度に工事を完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
	① 那覇市「近世琉球」関連施設(首里城公園・識名園)を訪れた来訪客数平成29年度実績の5%増(H29年度実績:285万人・7.2万人)		目標	()	()	()	(299万人・7.5万人)	
			実績	285万人・7.2万人	-	-	-	99.4万人・5.6万人
	成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
	② ①を訪れた来訪客数のうち、浦添市「古琉球」関連施設への来訪客数割合:60%		目標	()	()	()	(60%)	
		実績	-	-	-	37%		
進捗状況説明	・那覇市「近世琉球」関連施設を訪れた来訪客数平成29年度実績の首里城公園は77.2%減、識名園は22.2%減という結果となった。 ・R4年度の「近世琉球」関連施設から浦添市「古琉球」関連施設への来訪客割合は37%という結果となった。							

成果目標に対する原因・要因分析		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	令和元年10月31日の首里城火災により、首里城公園の来訪客が減少していること、首里城に代わる複数の集客施設への誘客や受け入れ態勢の整備が必要となったが、その後のコロナウイルス感染拡大に伴い、沖縄への観光客数自体が減少したことが要因と考える。	コロナウイルス感染拡大状況が落ち着いているが、引き続き感染状況を注視する必要がある。また、来訪客数を増加させる文化財の活用を検討する必要がある。
	今後の取り組み方針	
文化財の維持保全を継続し、来訪客数が増加するよう文化財の活用手法について検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)																
	総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	補助対象外経費												
識名園整備	45,697	45,697	36,556	9,141												
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">那覇市 26,180千円</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">委託料 26,180千円</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">神琉建設(株)26,180千円</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">(識名園心字池水質改善業務委託)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">那覇市 171千円</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">委託料 171千円</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">丸正印刷(株)171千円</td> <td style="text-align: center;">(識名園案内板制作業務委託)</td> </tr> </table>					那覇市 26,180千円	→	委託料 26,180千円	→	神琉建設(株)26,180千円	(識名園心字池水質改善業務委託)	那覇市 171千円	→	委託料 171千円	→	丸正印刷(株)171千円	(識名園案内板制作業務委託)
那覇市 26,180千円	→	委託料 26,180千円	→	神琉建設(株)26,180千円	(識名園心字池水質改善業務委託)											
那覇市 171千円	→	委託料 171千円	→	丸正印刷(株)171千円	(識名園案内板制作業務委託)											
首里金城の大アカギ整備	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">那覇市 19,346千円</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">工事費 19,346千円</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 45%; text-align: center;">末吉園(株)19,346千円</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">(首里金城の大アカギ木道整備工事)</td> </tr> </table>				那覇市 19,346千円	→	工事費 19,346千円	→	末吉園(株)19,346千円	(首里金城の大アカギ木道整備工事)						
那覇市 19,346千円	→	工事費 19,346千円	→	末吉園(株)19,346千円	(首里金城の大アカギ木道整備工事)											

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者及び工事業者は一般競争入札及びプロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	委託業務及び工事について、執行率が90%を超えており、適正であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については生産段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。